



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月6日

上場会社名 株式会社 立花エレテック

コード番号 8159 URL <http://www.tachibana.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡邊武雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門担当

(氏名) 住谷正志

TEL 06-6539-2718

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	90,164	5.6	2,532	26.4	3,083	26.7	1,678	25.3
23年3月期第3四半期	85,400	26.6	2,003	348.6	2,433	309.2	1,340	251.5

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 1,038百万円 (0.9%) 23年3月期第3四半期 1,029百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	80.79	—
23年3月期第3四半期	64.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	76,362	35,849	46.9
23年3月期	74,393	35,269	47.3

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 35,783百万円 23年3月期 35,205百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
24年3月期	—	10.00	—		
24年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	125,000	5.0	2,800	△5.3	3,430	△3.2	2,150	2.9	103.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料4ページ「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	21,381,102 株	23年3月期	21,381,102 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	601,632 株	23年3月期	601,576 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	20,779,504 株	23年3月期3Q	20,780,074 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響に加えて電力不足や長期化する円高問題、欧州の財政不安などの要因から厳しい状況で推移いたしました。

このような情勢のなかで当社は、企業グループ一丸となって流通の中で供給責任を果たすとともに、技術商社として市場のニーズに対応することに鋭意努めてまいりました。

その結果、第3四半期連結累計期間の売上高は901億64百万円（前年同期比5.6%増）、営業利益25億32百万円（前年同期比26.4%増）、経常利益30億83百万円（前年同期比26.7%増）、四半期純利益16億78百万円（前年同期比25.3%増）の増収増益となりました。

報告セグメント別については以下の通りであります。

〔FAシステム事業〕

売上高：418億82百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益：17億25百万円（前年同期比42.6%増）

FAシステム事業分野は、海外案件を中心に半導体・液晶・LED製造装置メーカー向けに、インバータ、プログラマブルコントローラ、低圧配電制御機器などの主力製品が堅調に伸びいたしました。

〔半導体デバイス事業〕

売上高：350億5百万円（前年同期比11.9%増）、営業利益：10億34百万円（前年同期比7.8%増）

半導体デバイス事業分野は、カーエレクトロニクス関連機器や家電製品向けにマイコンや専用ICが前年を上回り、エアコン用パワー素子が順調に推移いたしました。

〔情報通信事業〕

売上高：29億71百万円（前年同期比11.6%減）、営業損失：1億78百万円（前年同期は2億円の損失）

情報通信事業分野は、タッチパネルが堅調に推移しましたが、IT投資の低迷からパソコン及びコンピュータ周辺機器や映像監視セキュリティ用のカメラが減少いたしました。

〔施設事業〕

売上高：77億71百万円（前年同期比6.8%増）、営業損失：16百万円（前年同期は1億26百万円の利益）

施設事業分野は、電力不足を背景とした更新需要から、ビル用マルチエアコンや店舗用パッケージエアコンなどの冷熱品が順調に推移いたしました。また、大型建築物の受注により特高受配電設備が大幅に伸びいたしました。

〔ソリューション事業〕

売上高：4億57百万円（前年同期比23.4%減）、営業損失：1億41百万円（前年同期は1億47百万円の損失）

ソリューション事業分野は、産業用太陽光発電システムの受注が伸びたものの、住宅用太陽光発電が減少したことから全体として低調に推移いたしました。

〔貿易〕

売上高：20億74百万円（前年同期比9.3%減）、営業利益：1億8百万円（前年同期比96.7%増）

貿易の分野は、立体駐車場、船舶向けに提供部材のアイテムを拡大し、フレーム材や配管部材などが順調に推移いたしました。一方、電子部品製造メーカー向けチップコンデンサー用ニッケルペーストは大幅に減少いたしました。

（注）報告セグメントのうち「貿易」につきましては、前第3四半期連結累計期間においては「海外事業」の名称で表示しておりました。

海外売上高については次の通りであります。

売上高:119億41百万円(前年同期比22.4%増)

中国経済の成長を受けて日系メーカーに加え、中国ローカル企業への積極的な拡販活動を推進し、マイコンや専用ICなどの半導体が大幅に伸長いたしました。

なお、海外売上高比率は13.2%であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、763億62百万円となり前連結会計年度末に比べ19億68百万円増加いたしました。

流動資産は、640億13百万円となり前連結会計年度末に比べ18億5百万円増加いたしました。この主な要因は、現金及び預金の減少5億14百万円と有価証券の減少5億29百万円、たな卸資産の増加30億61百万円によるものであります。

固定資産は、123億49百万円となり前連結会計年度末に比べ1億62百万円増加いたしました。この主な要因は、有形固定資産の減少1億24百万円、投資有価証券の増加3億33百万円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、405億12百万円となり前連結会計年度末に比べ13億88百万円増加いたしました。

流動負債は、372億12百万円となり前連結会計年度末に比べ19億25百万円増加いたしました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の増加30億34百万円、未払法人税等の減少9億33百万円と賞与引当金の減少4億71百万円によるものであります。

固定負債は、32億99百万円となり前連結会計年度末に比べ5億36百万円減少いたしました。主な増減は、長期借入金の減少1億41百万円と負ののれんの減少3億78百万円、訴訟損失引当金の増加3億30百万円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、358億49百万円となり前連結会計年度末に比べ5億80百万円増加いたしました。この主な要因は、利益剰余金の増加12億21百万円、その他有価証券評価差額金の減少5億49百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績見通しにつきましては、平成23年5月12日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 追加情報

(訴訟損失引当金)

訴訟に対する損失に備えるため、これまでの経過等の状況に基づき、将来発生する可能性のある損失見込額を合理的に見積り計上しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,129	12,614
受取手形及び売掛金	37,695	38,097
有価証券	810	280
たな卸資産	8,158	11,220
その他	2,477	1,866
貸倒引当金	△64	△66
流動資産合計	62,207	64,013
固定資産		
有形固定資産	3,778	3,653
無形固定資産	350	298
投資その他の資産		
投資有価証券	6,997	7,331
その他	1,148	1,182
貸倒引当金	△88	△116
投資その他の資産合計	8,057	8,397
固定資産合計	12,186	12,349
資産合計	74,393	76,362
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,896	31,931
短期借入金	2,398	2,316
未払法人税等	1,251	317
賞与引当金	834	363
その他	1,906	2,284
流動負債合計	35,287	37,212
固定負債		
長期借入金	771	630
退職給付引当金	678	694
訴訟損失引当金	—	330
負ののれん	1,884	1,505
その他	502	139
固定負債合計	3,836	3,299
負債合計	39,124	40,512

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,692	5,692
資本剰余金	5,571	5,571
利益剰余金	24,048	25,270
自己株式	△495	△495
株主資本合計	34,816	36,037
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	843	294
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	△456	△548
その他の包括利益累計額合計	388	△254
少数株主持分	64	66
純資産合計	35,269	35,849
負債純資産合計	74,393	76,362

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	85,400	90,164
売上原価	74,174	78,190
売上総利益	11,225	11,974
販売費及び一般管理費	9,222	9,441
営業利益	2,003	2,532
営業外収益		
受取利息	21	23
受取配当金	103	121
負ののれん償却額	378	378
為替差益	—	29
その他	138	193
営業外収益合計	642	747
営業外費用		
支払利息	32	31
売上割引	122	134
為替差損	6	—
その他	50	30
営業外費用合計	212	196
経常利益	2,433	3,083
特別利益		
投資有価証券売却益	—	14
貸倒引当金戻入額	30	—
負ののれん発生益	64	—
特別利益合計	94	14
特別損失		
固定資産除却損	0	3
投資有価証券評価損	247	145
減損損失	—	3
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	7	—
事業構造改善費用	63	—
訴訟損失引当金繰入額	—	330
特別損失合計	319	481
税金等調整前四半期純利益	2,208	2,615
法人税等	864	933
少数株主損益調整前四半期純利益	1,344	1,682
少数株主利益	4	3
四半期純利益	1,340	1,678

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,344	1,682
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△173	△549
繰延ヘッジ損益	△5	△1
為替換算調整勘定	△135	△92
その他の包括利益合計	△314	△643
四半期包括利益	1,029	1,038
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,028	1,035
少数株主に係る四半期包括利益	1	3

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FAシステム 事業	半導体デバ イス事業	情報通信 事業	施設事業	ソリュー ション 事業	海外事業			
売上高									
外部顧客への売上高	40,582	31,291	3,362	7,279	597	2,285	85,400	—	85,400
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	40,582	31,291	3,362	7,279	597	2,285	85,400	—	85,400
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失(△))	1,210	959	△200	126	△147	55	2,003	—	2,003

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FAシステム 事業	半導体デバ イス事業	情報通信 事業	施設事業	ソリュー ション 事業	貿易			
売上高									
外部顧客への売上高	41,882	35,005	2,971	7,771	457	2,074	90,164	—	90,164
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	41,882	35,005	2,971	7,771	457	2,074	90,164	—	90,164
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失(△))	1,725	1,034	△178	△16	△141	108	2,532	—	2,532

(注) 報告セグメントのうち「貿易」につきましては、前第3四半期連結累計期間においては「海外事業」の名称で表示しておりました。

<参考情報>

ご参考までに、地域ごとの売上高は、以下の通りであります。

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

(単位：百万円)

日本	アジア	その他	合計
75,645	9,689	64	85,400

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

(単位：百万円)

日本	アジア	その他	合計
78,223	11,897	43	90,164

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。